

9条改憲、軍拡・軍事同盟強化ノ 参院選で問われる日本政治の方向

ウクライナ危機に便乗した“戦争する国づくり”推進を許すな

ウクライナ危機に便乗して、「核共有」・9条改憲・軍事費倍増・日米同盟強化などの大合唱がわき起こっています。

「9条の平和主義は空想の世界で思考停止」(安倍元首相)、「非核三原則という昭和の価値観のまま令和も行くのか」(松井日本維新の会代表)、「国際社会の平和と安定の礎として日米同盟をさらに強固にしていく」(岸田首相)、などなど。

今年の憲法フェスティバル実行委員会が発した意見広告(5/3付朝日全面広告)は次のようによびかけています。

「武力に対して武力で対抗するには相手国を上回る武力を持たねばなりません。核兵器も同じです。その道は果てしない核軍拡競争につながらないでしょうか。憲法9条は「武力に頼ら

ずに平和を守る」という選択をしました。私たちは、こんな時代だからこそ9条を活かして、徹底した平和外交と国際的な世論の力で戦争を起こさなくする道を選びたいと思います。」



憲法共同センターの抗議アピール行動

声 かつて日本がたどった道 戦禍の果てに求められた9条

歴史学者の山室信一氏は朝日新聞の“交論”で次のように論じています。

「ウクライナ侵略戦争の経過は、日本が1931年の満州事変から敗戦に至る過程と、まさに二重写しに見えます」「ロシアがドンバス地方の二つの『人民共和国』を承認し、武力で拡張していく過程は、満州事変や満州国建国から日中戦争への歩みを想起させます。さらに日本は大東亜共栄圏の建設を唱えましたが、プーチンがめざすユーラシア主義による広域支配に重なります。いま国連では、ロシアと欧米諸国の対立と分断が進んでいますが、満州事変をきっかけに日本が国際連盟を脱退して日独伊三国同盟に進んだことを思わせます。かつて日本がたどった道をロシアが行きかねない懸念があります」

(岸田文雄首相が「力による現状変更は認められない」と繰り返し発言していることに)

「武力による一方的な現状変更の禁止を明確に表明しているのが、他ならぬ日本国憲法9条1項です。『武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する』『力による現状変更は許さない』と言うのなら、それが9条1項にもとづいていることを明確に世界に向けて発信すべきでしょう」

次回行動は5月20日

5月街頭アピール行動

ロシアはウクライナから撤退を

5月20日(金) 午前10時～

ケーズデンキ真鍋店前

思い思いのメッセージ・プラカードをもってふるってご参加ください。

憲法連続講座 第4回のご案内 ZOOM土浦教室へどうぞ

飯田美弥子弁護士(うぶすな法律事務所(日立市))の憲法話しにおおいに学びましょう。お声かけの上ご参加ください。

■ 第4回講座 土浦教室

テーマ：

「戦争は個人の尊厳の最大の敵」

日時： 5月28日(土)午後2時～4時

場所： ワークヒル土浦 特別会議室

【参加料無料】

会員、非会員を問わず誘い合ってお気軽に、ご参加ください。自宅での視聴希望の方は連絡ください。

※ 第1回～第3回講座の様子はYouTubeで配信中です。「飯田美弥子憲法講座」で検索してください

6/19 土浦平和の会第29回総会 平和学習「ロシアのウクライナ侵略問題～ いま、私たちに求められているものは」

動画視聴 講師:川田 忠明さん(日本平和委員会 常任理事)

かわた ただあきさん
1959年生まれ。世界の反核平和運動を中心に活動。40カ国以上を訪問。各国で在日米軍基地の実態や憲法9条、日本の運動を紹介。戦争とジェンダー、文化問題などを平和の視点から論じる。

6月19日午後、土浦平和の会は第29回総会を開催します。総会に先立ち、日本平和委員会常任理事の川田忠明さんがZOOM会議で行った講演の動画を視聴します。世界の反

核平和運動の第一線で活躍している川田さんの目から見たウクライナ侵略問題をご一緒に考えましょう。

日時:6月19日(日)13:30～
ワークヒル土浦

第1部 平和学習
第2部 土浦平和の会第29回総会

参加費無料。会員以外の方の参加大歓迎

2022憲法フェスタ(5・3) 初のつくば市開催 「憲法は希望と平和の羅針盤」

岡田正則 (おかだまさのり) さんが講演

5月3日の憲法記念日、今年の憲法フェスティバルは昨年に続きコロナ禍で屋内での開催となりました。会場は初めてつくば市の国際会議場でした。

記念講演した岡田正則さん(早稲田大学教授)は「憲法と学術と平和-学術会議任命拒否問題から見えるもの」と題して、任命拒否されている6人の一人として「任命拒否の違憲性・違法性」「問題の背景・深層」などを詳しく論じました。1162名もの法律家が内閣官房と内閣府に対して任命拒否の根拠に関する情報公開請求をしていることなども紹介されました。



(左)岡田 正則さん、(中央)特別出演のカテリーナさん、(右)朝日新聞全面広告

ステージ企画として、ギター稗田隼人さんヴァイオリン内山恭子さんの演奏、最後にウクライナの民族楽器バンドウーラ奏者で歌手のカテリーナさんが美しい演奏、さらに、戦禍のウクライナを逃れて来日した母親も美しい歌を披露しました。

わが青春つきるとも伊藤千代子の生涯 土浦上映会開かれる(5/8)

映画「わが青春つきるともー伊藤千代子の生涯ー」が上映されました(改装されたクラフトシビックホール土浦(土浦市民会館)ではじめての上映会)。



いまから100年前の女性たちの不屈のたたかを描いた作品が感動を呼びました。

出演者の一人、俳優の嵐圭史さん(元前進座、歌舞伎役者)が舞台挨拶し、「全国で若い人たちにこの映画をみてもらいたい」と訴え、また、ご自身の土浦市の思い出など語りまし

た。著書のサインセールにも多くの方(前進座ファンかな?)が並びました。



嵐 圭史さん(左から4人目)とともに。上映実行委員会のみなさん

☆今夏の平和の取り組みにつきましてもは相談・具体化中です。ニュース次号でお知らせの予定。

【平和の会へのおさそいを。「平和新聞」購読も広げましょう】

- 幅広い年代からの加入を勧めましょう。ご家族・ご近所・友人・知人などにお声かけを
- 会費：月額500円、「平和新聞」(毎月5、15、25日発行)：月額593円(送料含)

